

週刊

学びのコミュニティー

第12号

平成21年5月13日発行

【ご紹介】

毎週火曜日に開かれている“**学びのコミュニティー**” 学生－社会人－教員の三者が同じテーブルについて、同じテーマについて意見を交換し合っています。今回はその中の1回…どんなことについて話し合い、どんな意見が出されたのかを、少しですがご紹介致します。

※毎週の議論のテーマはホームページ上でご紹介しております。そちらも併せてご覧ください。

日時：2009年4月28日 16:15～17:45

出席者：社会人4名、教員4名

1. 大学教育と放送大学に関する意見交換

徳島大学と放送大学で互いに単位互換を進めることは、講義の多様性確保や人的資源の有効活用、放送大学生に対する対面授業、など様々なメリットがお互いにある。現在は徳島大学生が放送大学に授業料を納めて受講することがネックとなって進んでいない。それぞれ所属する大学に授業料を納めることで単位が取れるように制度変更するなどの工夫により単位互換を進めることができるのではないか。

2. 大学教育と社会人参加授業についての意見交換

授業中に自分の意見を発言することは、社会人は体験に基づき意見を言うことが容易であるが、

大学生の特に1年の段階では困難である。ひとつの理由として、様々な意見に共感はするが、主体の確立の成長段階にあるため、意見をしぼりきれないためだと考えられる。20歳ごろの学生は感性豊かであり、この取組みの授業では、学生は直ぐには自分の意見を述べられなくても、社会人の発言する姿・内容をじっと見て聞いて、すなわち社会人の後姿を見ながら育てている。徳島大学は多くの学部で資格を目指す教育を行っているので、共通教育は受験勉強的な学習から学ぶ楽しさを意識した生涯学習へ学びのスタイルを切り替える最大の（最後の）チャンスである。



(文責：齊藤隆仁)

こちらは、5月12日の“**学びのコミュニティー**”のようす。スカイプ（インターネット電話。スカイプ同士なら世界中どこでも通話無料！）を利用して、学外に居る方にも話し合いに参加して頂きました。お茶を飲みながら、和やかな雰囲気での議論が進んでいきます。



出席者、特に学生さんの参加がまだまだ見られない状況です。学生みなさん！どなたでも参加して頂けますので、社会人や教員の方の意見を聞いたり、自分の想いを語ってみたりしませんか？お気軽にご参加ください☆

〈読後カード〉

おすすめ度

★★★★☆

読後カードに記入してください！

学習支援室内のミニライブラリーに、**読後カード**を設置致しました。

本を読んだ後に、ちょっとした感想と（もちろんたくさん書いて頂いても！）お勧め度を5段階で記入。その後、コルクボードに掲示します。他の人の感想を知ったり、本を選ぶ参考にして頂けたら、楽しいかなと思っています。学生さんは**水色**、社会人・教員の方は**オレンジ**の紙をご利用ください。

全学共通教育センター教員

総合科学部の学生さん

書評

若者のことはテレビで知っていたので…なかなかよく分かる本でしたよ

おすすめ度

★★★★☆

書評

自然科学、人文科学、社会科学にまで渡る思考実験を縦横無尽にやっている。気の利いた話を探している人にはおすすめ。

おすすめ度 ★★★★★

書籍：最新・北朝鮮データブック

著者：重村智計 出版社：講談社

書籍：もしもあなたが猫だったら

著者：竹内薫 出版社：中公新書

5月病に要注意!!

新学期や入社ของ時期がすぎ、そろそろ緊張がほぐれる頃なのに、無気力で勉強や仕事に身が入らない、集中力がな、強く疲労を感じる……など。このような症状が出てきたら要注意です。5月病のサインかもしれません。

大学生や社会人になって、一人暮らしになったり、時間に追われる生活になったり、環境が大きく変わります。新しい生活に夢中である間はいいですが、それがひと段落するこの時期に、知らず知らずに蓄積されていた心身の疲れが出てきたり、

新しい環境や人間関係についていけなかったりと、大きなストレスを貯め込んでしまうことが原因です。

体や心の不調を感じたら…新しい環境や人間関係にしっかり向き合い真面目に奮闘した結果なのだ、まずは自分を褒めてあげ、そして、ストレスを貯めないように気分を解放する、自分にあった解消法を見つけるといいそうです。焦らず、気長に、自分のペースで生活していけたらいいですね。

～編集後記～

過ぎやすかったGWが終わり、急に日差しがきつくなってきました。いい時期ってどうしてこんなに短いのでしょうか？紫外線が恐ろしい年齢になりましたので、これからの季節は紫外線との戦いです。対策をしっかりしつつ、初夏の自然に親しみたいです。（境）

